



二俣川小だより

1月号

横浜市立二俣川小学校

令和2年1月7日

発行責任者

校長 池田 千晶



頑張る

校長 池田 千晶

あけましておめでとうございます。新春の穏やかな日差しを浴びて、心新たに新年を迎えられたことと思います。みなさんは、どのような抱負をもたれたのでしょうか。

12月25日の帰り際、子どもたちは昇降口で「よいお年を〜!」とお互いに言って帰る姿を何組か見かけました。この子どもたちにとって、とても楽しみな冬休みなんだろうなと弾んだ声から伺われ、心地よい声を耳に残したまま冬休みを迎えました。

冬休み何日か目に、自分が美容院に行ったときに、年少か年中くらいの子どもの「頑張る」事件(!?)に出くわしました。その子は歯医者には行ったことがあるが、美容院で髪を切るのは初めてらしいのです。半分泣きそうな表情で、「何するの? 痛くない?」と何度も母親や美容師さんに聞いていました。確かに椅子の形は歯医者に少し似ている…と思いながら、子どもの「何で?」攻撃に母親や美容師さんが詳しく説明している様子を見ていました。ようやく座ったその子に美容師さんが「さあ、頑張ってるね」と声を掛けました。するとその子は「頑張ってる、どうすればいいの?」と切り返してきたのです。美容師さんは少しの間のおと、「終わるまで動かないで静かに座っている事だよ」と答えました。そこから「何で?」攻撃は終止符をうち静かになりました。その子なりに腑に落ちたのでしょうか。

大人にとっては当然の言葉遣いが、子どもには具体的にどう行動することなのかかわからないという場面は、日常生活で多く見られます。このようなときに、具体的な行動として言い換えて伝えられるか、具体的な行動の説明なしで頭ごなしに黙らせてしまうかでは、おそらく後で大きな違いとなってくるのではないのでしょうか。教育に携わる者としてハッとさせられる場面でした。今日から学校生活が再スタートします。具体的な分かりやすい言葉がけをして、一人ひとりの個性を伸ばす教育活動をしていこうと心新たに思いました。

今年も、子どもを中心にして、保護者の方々とパートナーとして協力しながら、そして地域の方々に見守られながら、学校としてできることに精一杯取り組んでまいります。皆様にとって、この一年が素晴らしい年であることを心よりお祈り申し上げます。

